

6年「天下の名城をよみがえらせる」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- 広げる・深める**…展開前段の学びを想像的に広げたり、展開前段の学びを吟味して深めたりして、主題発問への答えを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぐ一言**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れたり、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明したりして、自分との関わりで振り返りを行うことができるようにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	世界に誇れるものを受け継ぎ、残していこう
導入	今日は、日本で世界に誇れるものについて考えましょう
展開前段	<p>○姫路城が、日本中の人たちから、「天空に飛び立つサギのように美しい」と言われていたことを、姫路の人たちは、どんなことを思っていたでしょう</p> <p>○戦争の後、傷んでしまった姫路城を見て、町の人たちは、どんなことを思ったでしょう</p> <p>○姫路城が、日本で初めて世界文化遺産に登録されたとき、姫路の人たちをはじめ、日本中の人たちは、どんなことを思ったでしょう</p>
広げる・深める	<p>○「世界に誇る姫路城」「世界に誇る」とは、どういうことでしょう</p> <p>○姫路城の他に、世界に誇れるものは何でしょう</p> <p>○それが日本にたくさんあると、どんな気持ちになるでしょう</p> <p>○世界中の人たちは、それを見て、日本のことをどのように思うでしょう</p>
展開後段	世界に誇れるものがあることは、どうしてよいのでしょうか
つなぐ一言	<p>世界の国々の人々も、世界に誇れるものをもっています。みんな、ステキですね</p> <p>・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか①</p> <p>・①のことで、もうすでに、やっていることがあるよということはどうなことです</p> <p>・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか</p> <p>・①のことをもとに、みんなと一緒にやってみたいことはどんなことですか</p> <p>・①のことをもとに、これから、みんなが、どんな自分になるとステキだなと思いますか</p> <p>では、振り返りを書きましょう</p>
振り返り	